

**平成27年度**

**土器川における  
水害に強いまちづくり検討**

**第2回  
水害に強いまちづくりワークショップ**

**開催報告(詳報)**

**国土交通省 香川河川国道事務所**

# 「水害に強いまちづくり検討・ワークショップ」の概要

## ◆背景とねらい

### ＜背景＞

- ▶全国各地で大規模水害が発生しているとともに、地球温暖化に伴う気候変化の影響により大規模水害の発生が懸念されている。
- ▶大規模災害を想定して、香川地域継続計画の検討が進められている。
- ▶平成25年度より、土器川をケーススタディとした大規模水災害対策の検討を継続して取り組んでいる。

### ＜本ワークショップの位置付け＞

- ▶大規模水害発生後の“**地域の生き残り計画**”について、“**住民目線**”で議論する先進的な取り組み
- ▶“**上下流の地域が一体**”の広域的な取り組みを進める中で、土器川沿川の**モデル地区を対象**とした検討

### ＜本ワークショップのねらい＞

- ▶土器川流域において、“**水害に強いまちづくり**”を目指した流域・地域で一体となった大規模水害対策を推進
- ▶流域住民等の意見集約、情報共有、共通認識の醸成

## ◆検討組織と役割(3つの組織)

- ワークショップ（事務局：国交省）検討のための意見集約・情報共有
- 検討会（事務局：国交省）：とりまとめ書」の検討
- 協議会（事務局：香川大学）：連携・サポート
  - ・大規模水害対策ワークショップ（ワークショップ）
  - ・大規模水災害に適應した対策検討会（検討会）
  - ・香川地域継続検討協議会（協議会）

## ◆ワークショップの対象

- 土器川下流部右岸モデル地域：丸亀市土器町東地区・北地区
  - 検討対象の想定被害：内水による浸水～土砂災害～堤防決壊に伴う大規模水害
    - ・土器川では大正元年に堤防決壊の発生の記録がある
    - ・近年、他県で実際に堤防決壊事例が多発
- (H24年7月九州北部、H16年7月新潟・福島、H27年9月茨城 ほか)

# 「水害に強いまちづくり検討・ワークショップ」の流れ

【大規模水災害に適応した対策検討会】 ⇄ 【香川地域継続検討協議会】

【香川河川国道事務所】

平成25年度

＜ステップ1＞：大規模水害対策の方向性とまとめ

・「土器川における大規模水害に適応した対策検討とりまとめ書(案)」を協議会で承認

- ・住民ワークショップの開催
- ・検討会の開催
- ・「とりまとめ書(案)」の作成

【水害に強いまちづくり検討会】 ⇄ 【香川地域継続検討協議会】

＜ステップ2＞：“水害に強いまちづくり”のためのアクションプラン検討【行政】

◆平成26年度

・検討の場：「土器川における水害に強いまちづくり検討会」  
(事務局：香川河川国道事務所)

・検討内容：

- 【テーマ1】住民目線での災害情報のあり方
- 【テーマ2】地域コミュニティの活性化と地域連携体制の強化
- 【テーマ3】避難の実効性確保のためのハード・ソフト整備
- ★大規模水害に関するタイムライン(防災行動計画)

・検討方法：代表市町による「検討部会」を設置し、モデル地区を対象として検討(行政、香川大学で検討)

南海トラフ巨大地震を想定した地域継続計画(DCP)の検討

◆平成26年度

・検討の場：「香川地域継続検討協議会」(事務局：香川大学危機管理研究センター)

・検討内容：アクションプラン検討

◆平成27年度

・検討内容：香川地域におけるアクションプランの実践、四国DCP検討等

- ・検討部会、住民ワークショップの開催
- ・検討会の開催
- ・アクションプラン【行動計画書(案)】の作成

協議会での成果(ノウハウ)

関係市町・関係機関とのキャッチボール

“行政での検討”から“行政と住民での検討”へ

＜ステップ3＞：“水害に強いまちづくり”のためのアクションプラン検討【住民】

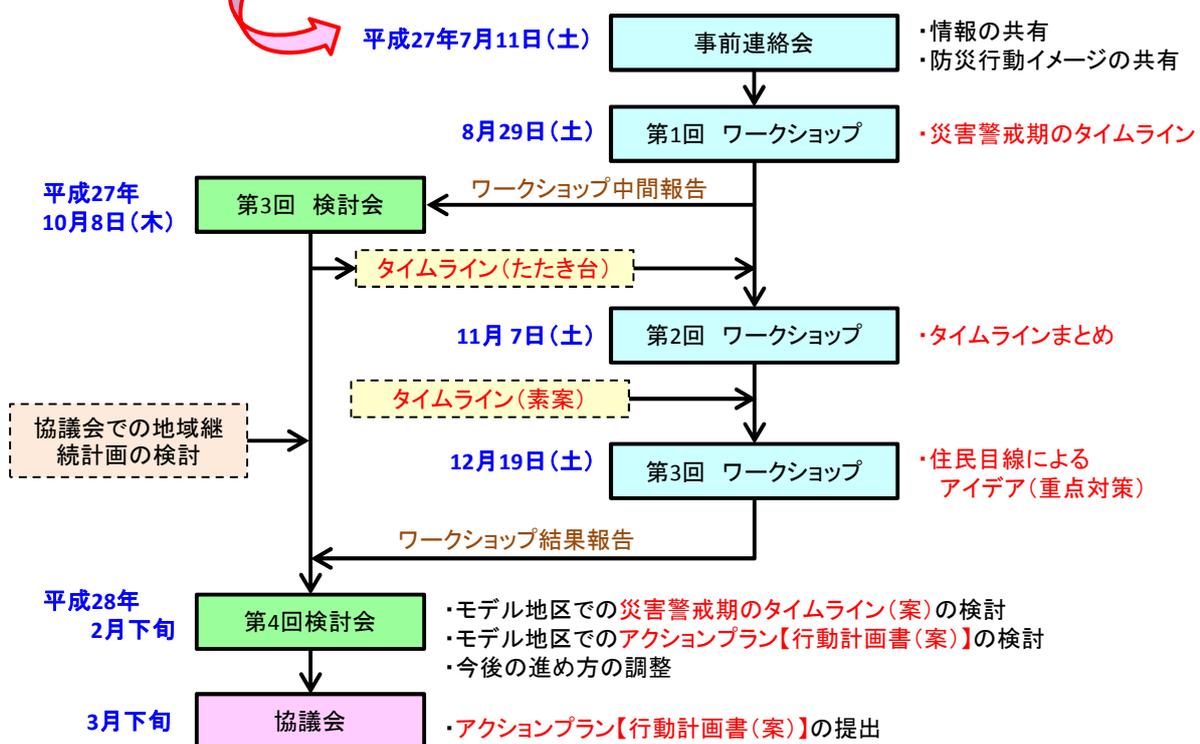
◆平成27年度～28年度

- ・検討内容：大規模水害に関するタイムライン(防災行動計画)
- ・検討方法：モデル地区における「住民ワークショップ」を実施し、住民目線でタイムラインを具体化(住民、行政で検討)  
⇒住民意見を踏まえ、アクションプラン(案)をブラッシュアップ

＜ステップ4＞：流域・地域で一体となった大規模水害対策の実施

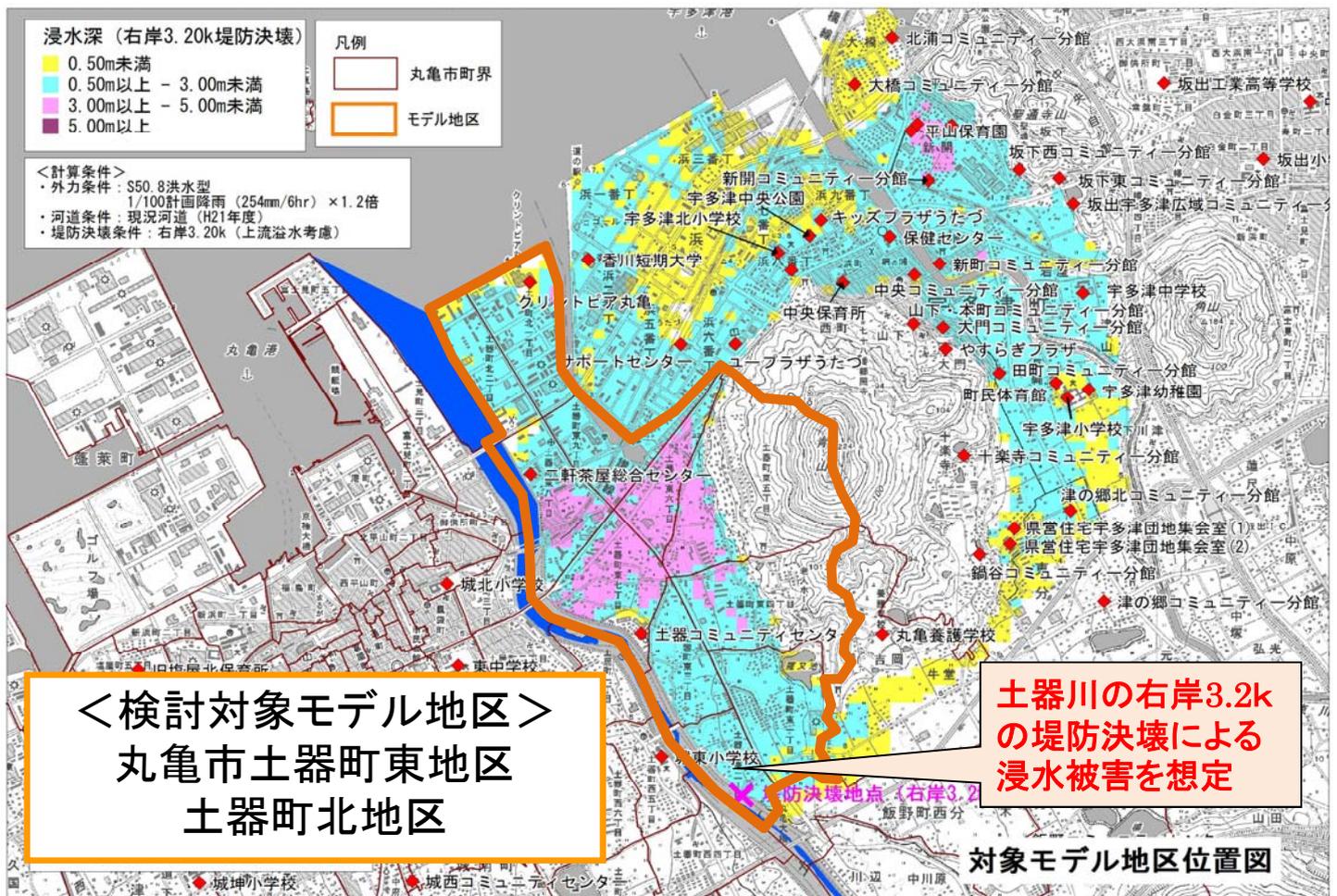
◆平成29年度以降の予定

- ・「アクションプラン(案)」に基づく、各主体での着実な事業推進
- ・「とりまとめ書(案)」および「アクションプラン(案)」に基づく、他地域や他機関への展開



平成27年度の検討会・ワークショップの流れ

# 「水害に強いまちづくりワークショップ」の構成



## ワークショップの検討対象モデル地区の参加人員構成

テーブル番号	属性	ワークショップ参加人数	
テーブル1	自治会グループ（自治会長、自治会役員）	参加者：7名 進行者等：3名	計10名
テーブル2	自主防災会他混合グループ（自主防災会、水利組合、元消防士等）	参加者：6名 進行者等：4名	計10名
テーブル3	若手・女性混合グループ（小学校PTA、保育所保護者会、婦人防火クラブ、民生委員等）	参加者：7名 進行者等：3名	計10名
テーブル4	女性グループ（幼稚園PTA、小学校PTA、中学校PTA、自治会員）	参加者：6名 進行者等：4名	計10名 （内欠席2名）
テーブル5	事業所グループ（丸亀市民病院、地元事業者）	参加者：6名 進行者等：3名	計9名 （内欠席2名）
			合計49名 （内欠席4名）

注1)ワークショップ参加者は、検討対象モデル地区にお住まいの方々（1テーブルに約7名）を対象とした。

注2)「進行者等」は、進行者、記録者、補助者の3～4名。

# 「第2回 ワークショップ」開催の様子

- ・『第2回 水害に強いまちづくりワークショップ』を開催しました。
- ・ワークショップは、ファシリテータの進行により、大規模な被害想定の確認やモデル地区の浸水特性等の情報共有、本ワークショップのテーマに関する各検討を実施しました。

◆開催日時 : 平成27年11月7日(土) 14:00~16:30  
◆開催場所 : 丸亀市民会館 中ホール



「検討会」会長の挨拶



ファシリテータによる進行



会場の様子



タイムライン(自助)の検討



タイムライン(共助)の検討

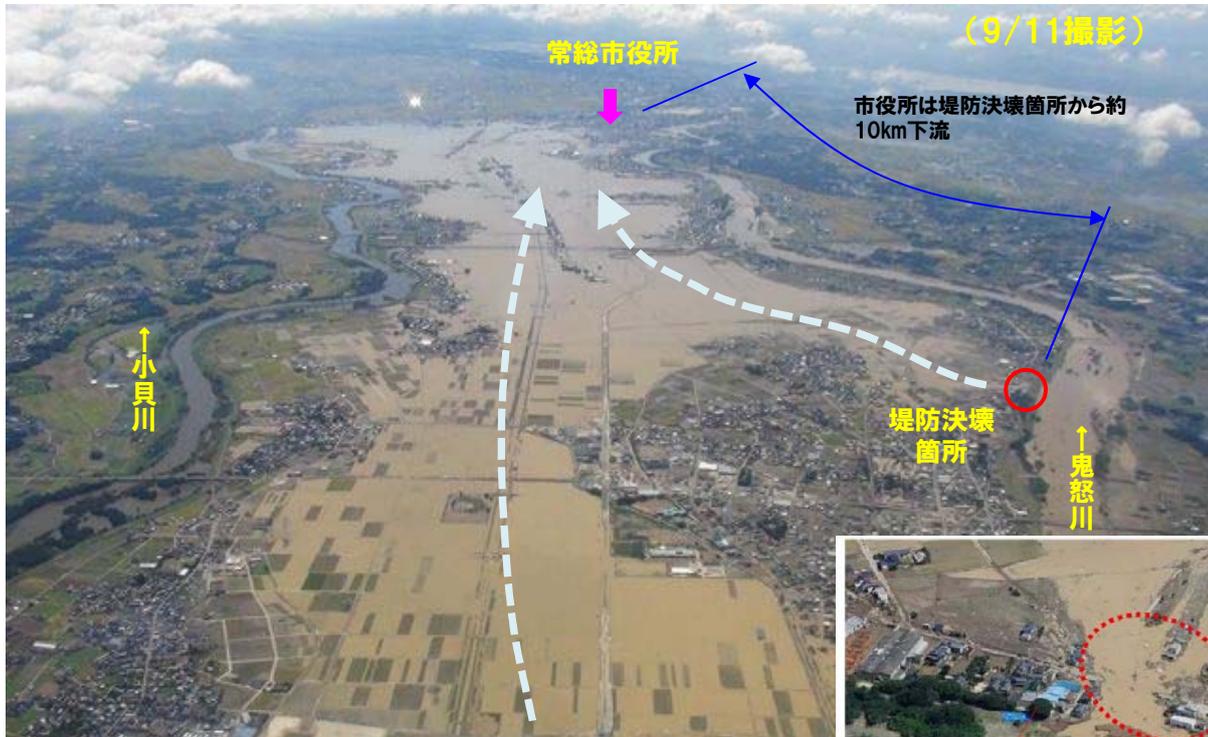


テーブル発表(代表テーブル)

# 情報の共有①(鬼怒川の水害事例より)

## 【平成27年9月関東・東北豪雨の鬼怒川被害状況】

土器川における大規模水害の被害イメージを再確認しました



鬼怒川被害状況写真  
(提供:国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月11日  
 ■平成27年9月10日 12時50分 堤防決壊  
 ■決壊幅 約200m

## 【平成27年9月関東・東北豪雨(鬼怒川の堤防決壊)の教訓】

私たちの中讃地区においても、土器川の堤防が決壊したとき、“今のまま”であれば、どうなるか？

対象	起こること	備考(行政の対応)
洪水外力	<ul style="list-style-type: none"> <li>濁流が波打ちながら、激しく流れ出る</li> <li>長時間、濁流があふれ続ける</li> </ul>	
情報・避難	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難勧告・避難指示が遅れる</li> <li>防災情報メールが発信されない</li> <li>道路が渋滞して、避難所に行けない</li> <li>他市町の避難所には行かない</li> <li>障害者は避難しない・できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこで堤防決壊が起こるか予想できない</li> <li>様々な対応に追われる</li> <li>指定の避難所しか伝達できない</li> </ul>
被害	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 死者が出る</li> <li>● 孤立者が出る</li> <li>● 家が流される</li> <li>● 長時間、浸水する</li> <li>● 長時間、停電・断水する</li> <li>● ゴミの不法投棄が多量に出る</li> <li>● 防災拠点が浸水する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 救命・救助活動</li> <li>● 緊急排水活動(排水ポンプ車)</li> <li>● ライフライン復旧</li> <li>● ゴミ処理</li> <li>● 防災機能が麻痺する</li> </ul>



# 住民タイムラインを実行するための主な論点

◆第1回ワークショップの住民意見まとめより、避難行動における『避難の目安、避難のタイミング』を抽出し、第2回ワークショップ検討のメインテーマとしました。

対象	問題点 (第1回ワークショップ意見)	防災行動(主な論点)
地域住民 (自助)	1) <b>防災情報メール</b> が頻発 (見なくなる)  2) <b>川沿いの避難所</b> に移動したくない  3) <b>避難指示</b> が出るのを待つ	1) <b>情報収集の仕方</b> →複数の情報収集手段を活用する →情報を選択して活用する(広範囲、地区) 2) <b>避難先の判断</b> →避難所の特性を知る(河川氾濫、内水氾濫、土砂災害等)  3) <b>避難の目安、避難のタイミング</b> →身近な避難の目安を持つ (共助としても必要) →自主的な避難行動を行う
地域 コミュニティ (共助)	4) <b>平常時から付き合いのない人</b> への連絡は困難  5) 水害、土砂災害等で <b>避難所が違う</b> (避難所が違くと移動ができないかもしれない) 6) <b>災害時要配慮者</b> を把握できていない  7) <b>防災計画</b> や <b>避難計画</b> が必要 8) 会社対応には、 <b>BCP</b> が必要	4) <b>連絡体制の確保、事業所との連携</b> →地域コミュニティの活性化を図る →自治会、自主防災組織、事業所が連携する 5) <b>自主防災組織による避難判断や避難誘導</b> →状況に応じて避難の方法を判断する(ただし、一概に避難先を決めることはできない) 6) <b>災害時要配慮者への対応、災害時要配慮者の避難支援</b> →丸亀市が災害時要配慮者の情報を開示する →自主防災組織が中心となって支援者を確保する 7)8) <b>防災活動・防災行動の全般、事業所のBCP対応</b> →地区防災計画や避難確保計画を作成し、実践する →事業所のBCPを作成し、実践する
行政への 要望 (公助)	9) 今年の <b>避難勧告で逃げなかった</b> 10) <b>どこへ逃げるか</b> アナウンスしてほしい 11) <b>警報(サイレン)の意味</b> がわからない 12) <b>避難勧告、避難指示等の区分</b> がわからない 13) <b>丸亀市防災ラジオ</b> がない	9)10)11)12) <b>避難勧告等の周知</b> →指定の避難所しかアナウンスできない(夜間は垂直避難) →自助・共助による避難判断や避難誘導を行う →公助として、防災情報に関する広報活動を行う →共助・公助の協働による防災訓練、避難訓練を行う 13) <b>リアルタイム情報の伝達、災害情報の伝達</b> →公助として、より確実な情報伝達手段を提供する(防災ラジオ、防災情報メール、防災行政無線戸別受信機等)

第2回ワークショップ  
検討のメインテーマ

# 第2回ワークショップの検討内容

## <検討テーマ>：“命を守る”ための避難行動

～タイムラインに従って行動すれば、安全に避難できるか～

“今のまま”では、死者が出る

“命を守る”ための避難行動が必要

【検討－1】 自助(自分)のタイムライン(防災行動計画)を考える

- 自分や家族のタイムラインを考えてみましょう  
何をきっかけに、どんな状況になれば、避難しますか？

【検討－2】 共助(地域)のタイムライン(防災行動計画)を考える

- 地域の災害特性を踏まえて、地域コミュニティのタイムラインを考えてみましょう  
何を基準・指標として、避難行動の判断を行いますか？

タイムライン検討をふり返る

- ① “私たちのタイムライン”の実行の“良いこと”は何ですか？
- ② “私たちのタイムライン”の実行するための“課題”は何ですか？

### タイムラインでの情報の種類(危険情報、災害情報、避難情報)

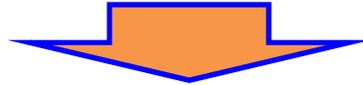
危険情報	項目	内容	災害情報	災害	モデル地区周辺での対象
	台風	・気圧、風速、速度 ・大きさ、強さ		河川氾濫	・土器川、大束川
	雨	・大雨注意報 ・大雨警報 ・大雨特別警報		内水氾濫	・清水川、古子川、赤山川、 安達川流入水路
	洪水	・洪水注意報 ・洪水警報 ・洪水予報(氾濫危険情報等)		土砂災害	・青ノ山
	土砂	・土砂災害警戒情報		ため池氾濫	・柳池
			高潮	・瀬戸内海	



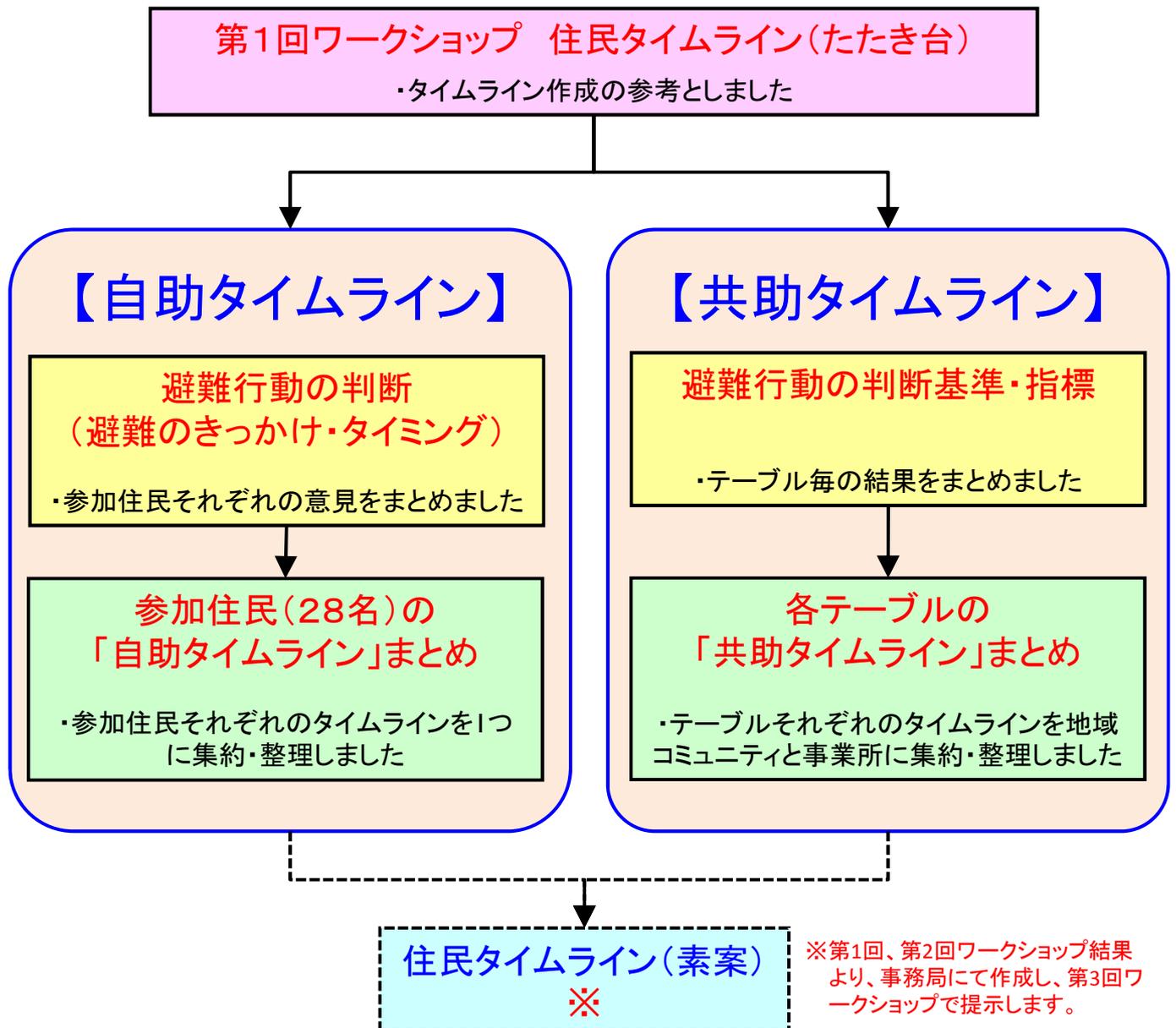
避難情報	指標	内容
	避難準備情報	・要配慮者の避難開始 ・一般住民の避難準備
	避難勧告	・一般住民の避難開始
	避難指示	・避難完了

## 第2回ワークショップ 検討結果のまとめ方

- ◆第1回ワークショップでの「大規模水害時の住民の防災行動に関する意見」に基づく『住民タイムライン(たたき台)』を参考に、土器川の堤防が決壊するほどの大規模な降雨が継続した場合、時間の経過とともに発表・公表される各種情報(危険情報、災害情報、避難情報)を基に、自分自身の「自助タイムライン」を作成しました。(参加住民28名分)
- ◆また、5テーブル毎に対象地区を想定し、地域コミュニティの「共助タイムライン」を作成しました。(5テーブル分)



- ◆参加住民が作成した「自助タイムライン」、「共助タイムライン」を集約・整理し、自助と共助の「避難行動の判断」、「タイムラインまとめ」を事務局にて作成し、収録しました。



# ＜第2回ワークショップ＞ 自助タイムラインにおける「避難のきっかけ・タイミング」

ステージ	危険度レベル(土器川)	時間	危険情報				災害情報			丸亀市			ニュース情報(災害・交通)	危険情報	災害情報	避難情報			
			台風	注意報・警報	洪水予報	水防警報	土砂災害	河川氾濫	内水氾濫	土砂災害	避難勧告等の発令	避難勧告等の発令					避難勧告等の発令		
ステージ1	レベル1	2日前	台風の可能性があります																
		-24h																	
ステージ2	レベル1	-12h																	
ステージ3	レベル2 注意3	-6h																	
ステージ4	レベル3 警戒4	-5h																	
ステージ5	レベル4 危険5	-4h																	
ステージ6	レベル5	-3h																	
ステージ7	レベル5	-2h																	
ステージ8	レベル5	-1h																	
ステージ9	レベル5	0h																	

注) 避難が必要な状況が夜間・早朝と予測される場合は、暗くなるまでに避難準備情報を発令(避難勧告)についても同様の判断あり)

安全な避難のため、早めに「避難のタイミング」を設定  
 「避難のきっかけ」とする「避難の目安(判断基準・指標)」は、大雨洪水警報、床下浸水発生、道路冠水など

強い雨(どしや降り)  
 ・3時間雨量60mm

強い雨(バケツをひっくり返したような降り)  
 ・3時間雨量80mm

非常に強い雨(海のない汽船)  
 ・3時間雨量150mm  
 ・6時間雨量250mm



# ＜第2回ワークショップ＞ 共助タイムラインにおける「避難行動の判断基準・指標」

		避難行動の判断基準・指標																
		危険情報			災害情報			丸亀市		ニュース情報 (災害・交通)		危険情報		災害情報		避難情報		
ステーション	危険度レベル (土器川)	時間	台風	注意報・警報	洪水予報	水防警報	土砂災害	河川氾濫	内水氾濫	土砂災害	土砂災害	土砂災害	土砂災害	土砂災害	土砂災害	土砂災害	土砂災害	土砂災害
		2日前	土器川に上陸の可能性															
		-24h		大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)						
		-12h	九州に接近															
	レベル1	-6h		大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)						
	レベル1	-5h		大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)						
	レベル2	-4h		大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)						
	レベル3	-3h		大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)						
	レベル4	-1h		大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)						
	レベル5	0h		大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)	大雨注意報 (土器川市)						

注) 避難が必要な状況が夜間・早朝と予別される場合は、暗くなるまでに避難準備情報を発令(避難勧告)についても同様の判断あり

目的に避難準備情報を発令(夕方までに)

大雨注意報が氾濫(低平地の氾濫)が氾濫

大雨注意報が氾濫(低平地の氾濫)が氾濫

大雨注意報が氾濫(低平地の氾濫)が氾濫

大雨注意報が氾濫(低平地の氾濫)が氾濫

非常に強い雨(海の上で50mm)・3時間雨量150mm・48時間雨量250mm

・災害時要配慮者を対象とした「避難の目安(判断基準・指標)」は、大雨洪水警報、内水被害発生など

・健康者を対象とした「避難の目安(判断基準・指標)」は、大雨洪水警報、内水被害発生など

・避難準備情報(テーブル1)

注) 災害時要配慮者を対象に判断

・大雨洪水警報(テーブル2、テーブル4)

・内水被害発生(テーブル5)

・土砂災害警戒情報(テーブル3)

・避難勧告(テーブル2)

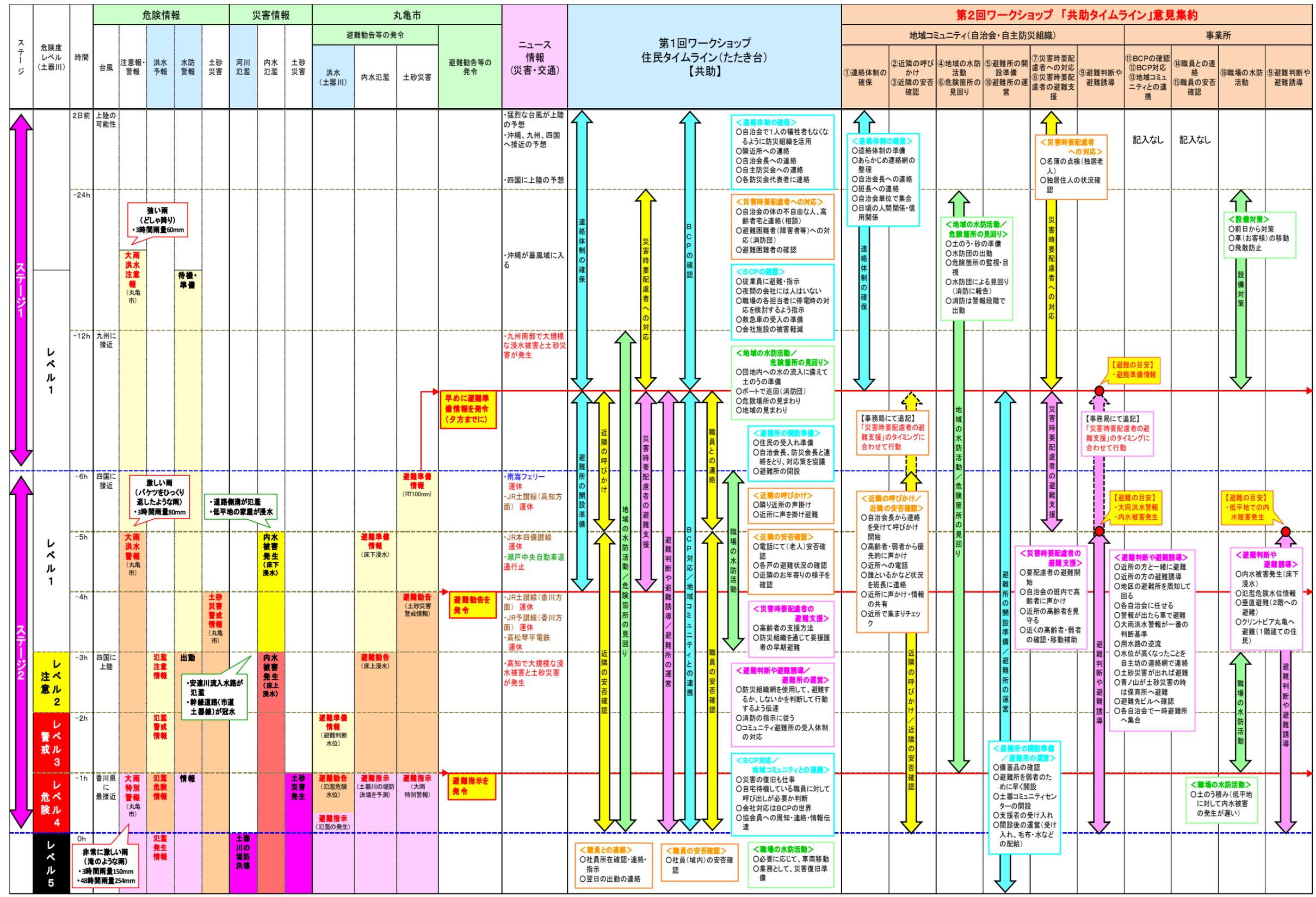
・避難勧告(テーブル2)

・避難勧告(テーブル2)

・避難勧告(テーブル2)

# <第2回ワークショップ> 住民による「共助タイムライン」のまとめ

この『共助タイムラインまとめ』は、第2回ワークショップにおいて、各テーブルで作成した「共助タイムライン」及び意見を集約し、各防災行動項目ごとに避難行動のタイミングや様々な意見を取りまとめ、事務局にて整理・作成したものです。



# タイムラインへの意見「良いこと」

- タイムライン検討の実施後に、タイムラインを“実行”することの“良いこと”について、意見カードに記入しました。  
（すべての意見カードを整理し、「項目（できること）」別に意見を取りまとめました。）

項目(できること)	自助	共助
避難行動の判断 (避難の目安)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害を想定して事前に行動がとれる</li> <li>・河川水位の上昇が思っていたより早い事がわかった</li> <li>・行動の判断基準が分かり安く、明確になった</li> </ul>	
早めの避難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早めの避難をすれば安心</li> <li>・早く避難できる</li> <li>・自分の思っている避難のタイミングでは、遅すぎる事が分かった(小さい子供がいるため)</li> <li>・初動で迷わない</li> </ul>	
安全な避難先の選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅が割と安全な場所である</li> <li>・水害危険地域に自宅があるが、周辺に高い建物が多くある</li> <li>・避難するのに高いビルがあり、時間がかからないことがわかった</li> </ul>	
時間軸を考えた準備・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行動にもいくつかあり、時間関係で考えておく必要がある</li> <li>・いつ、何をしなければいけないかが明確になった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難の計画性</li> <li>・行動の確認ができる</li> <li>・時間軸で準備・行動が必要である</li> </ul>
災害時要配慮者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の命・家族が大切なので、要介護者を事前に助けることが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が安心できる</li> </ul>
家族や地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と共有できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通認識として役立つ</li> <li>・自分が気付かない所の理解</li> <li>・常に近所が仲よくし、声をかけ合う</li> </ul>
事業所BCPによる対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所のため、BCPで対応</li> </ul>

# タイムラインへの意見「課題」

- ・タイムライン検討の実施後に、タイムラインを“実行”するための課題について、意見カードに記入しました。  
(すべての意見カードを整理し、「対策項目」別に意見を取りまとめました。)

テーマ	対策項目	自助	共助	公助
情報	①複数の情報収集手段の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災情報メールが頻発(見なくなる)</li> <li>・正確な情報収集が必要</li> <li>・災害は複数、リスクの高い災害に対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の行政情報収集チャネル確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸亀市防災ラジオがない</li> <li>・多様な情報伝達手段の確立</li> <li>・複数災害で複雑になる</li> </ul>
	②避難の目安(避難のきっかけ・タイミング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難指示が出るのを待つ</li> <li>・避難のタイミングが難しい</li> <li>・自分の避難のタイミングが少し遅い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内水被害発生の確認方法(特に夜間)</li> <li>・これくらいの雨が降ったら危険という判断ができるように勉強</li> <li>・「火の見やぐら」で災害情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土器川の水位、映像、CCTVを見て判断したい</li> <li>・土器川の危険箇所がわからない</li> </ul>
	③避難先や避難方法の判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川沿いの避難所に移動したくない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害、土砂災害等で避難所が違う(避難所が違うと移動ができないかもしれない)</li> <li>・避難所の確認(自治会毎)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこへ逃げるかアナウンスしてほしい</li> <li>・中讃保健所と丸亀病院は避難場所にできるようにしておく</li> <li>・避難場所は適切に選定する(場所によっては不適な所がないか)</li> </ul>
	④避難勧告等の周知(広報活動、防災訓練、避難訓練等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の避難勧告で逃げなかった</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイレンが聞こえない</li> <li>・防災行政無線の放送が聞き取りにくい(特に風が強い場合)</li> <li>・緊急避難メールが伝わりやすい</li> <li>・避難指示の行政力を発揮してほしい</li> <li>・早めの避難勧告等</li> <li>・避難指示ではなく、避難命令の方が良い</li> </ul>

テーマ	対策項目	自助	共助	公助
連携	⑤連絡体制の確保(自主防災組織の活性化、地域と事業所との連携)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所付き合いが大切</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常時から付き合いのない人への連絡は困難</li> <li>・普段から近所の方々と防災の話をしていきたい</li> <li>・地域コミュニティや自治会が有事の時は体制を作り、集結する</li> <li>・自治会の連絡網・連絡体制の整備</li> <li>・自治会内の役割分担の周知・確認</li> <li>・自主防災組織がまだまだ成立していない</li> <li>・自主防災組織の役割分担を共有</li> <li>・丸亀市と地域コミュニティの連携で、あいまいな部分がある</li> <li>・情報連絡網の体制が整備されていない</li> <li>・企業間の連携の有無が影響する</li> <li>・企業主の考え方の整合が必要</li> <li>・多種多様な事業所が集まっているため、物事の考え方の整合が難しい</li> </ul>	
	⑥災害時要配慮者への対応(災害時要配慮者の避難支援)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時要配慮者を把握できていない</li> <li>・災害の場合に他人を助けることができるか不安</li> <li>・共助する方への連絡方法があまりない</li> </ul>	
	⑦避難行動の支援(防災計画や避難計画、事業所BCPの作成)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災計画や避難計画が必要</li> <li>・会社対応には、BCPが必要</li> <li>・BCPに水害も検討しておく</li> <li>・域内企業への周知方法</li> </ul>	
その他(実効)	⑧避難の事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の準備(情報etc)</li> <li>・個人個人の準備</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・土のうの準備</li> </ul>
	⑨被害軽減のためのハード・ソフト整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害の最小化</li> </ul>		
	⑩応急対策(被災者の支援)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・起こることは仕方ないので、事後が大事</li> <li>・「事後復旧」と「事前対応」</li> </ul>	

# 意見カードの結果(テーブル1)

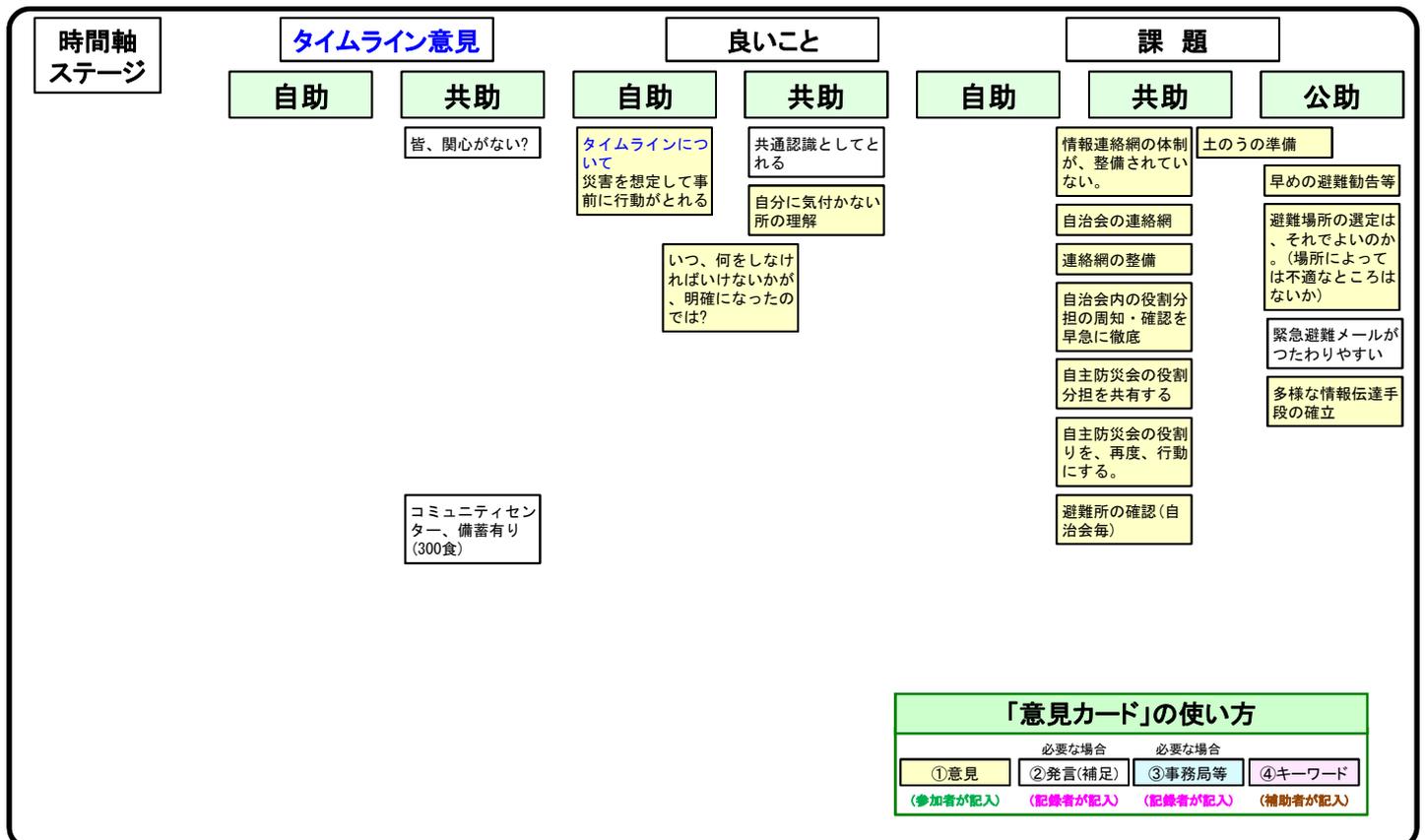
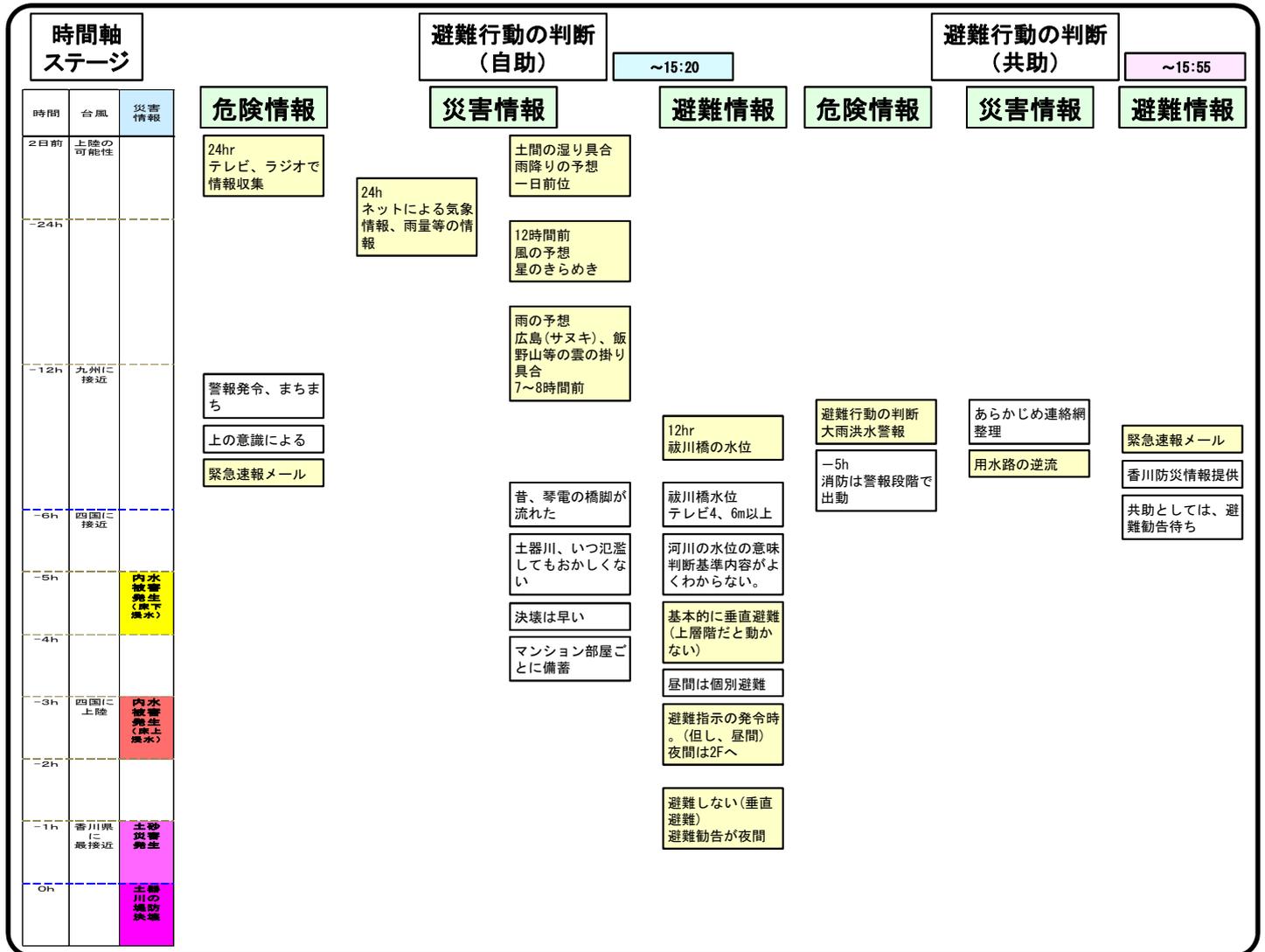
時間軸 ステージ			①T.V -5日 台風進路、影響			避難行動の判断 (自助)			避難行動の判断 (共助)		
時間	台風	災害情報	危険情報	災害情報	避難情報	危険情報	災害情報	避難情報	危険情報	災害情報	避難情報
2日前	上陸の 可能性		2日前 ①台風発生から四 国上陸 情報収集	① (2日前) ・テレビ ・ネット	-24Hr 食料品他購入				-24H コミュニティとし ては、前から土の う準備		-2日 独居老人の名簿点 検 (民生委員)
-24h			(情報収集)2日前 台風情報、テレビ	-24以前 TV・PCで情報収集					①の地区は、土の う不要		
-12h	九州に 接近		△24H 情報収集 テレビ	-24h 非常持出し点検							避難準備情報 要配慮者
-6h	四国に 接近		・24H前 テレビ、ラジオで 情報収集	△12H 玄関先、裏口の廻 りの片づけ。2階 に上げる物を選別	-12H 植木補強 外廻り点検						-9H 要配慮者の避難開 始 ④へ避難
-5h		内水 発生(路上 浸水)	③④ (-5h) ・ケイタイ	-5 避難きっかけ 雨が大きくなり、 足もとが悪くな る前	-6 避難の準備 ②保存食料の調達 電灯、ラジオの確 認				-9H 避難所開設 支援者の受入れの 為にも		-9H 病院、保健所も避 難所に活用すべき
-4h			6 -4 自宅	道路の浸水 5時間前				⑥ (-3h) ⑦ 氾濫注意情報 により判断			
-3h	四国に 上陸	内水 発生(路上 浸水)	△3 7 河川敷が冠水時の 残段階数	-3H 内水氾濫				-3 <避難のきっかけ> 避難勧告			
-2h			市の広報を判断	内水氾濫後を判断 (垂直)	道路が通れるうち に...			-2H 市広報による避 難			
-1h	香川県 に最接近	土砂 災害発生		⑦ -2H 青の山が近いので				-2H 市広報による避 難			
0h		土砂 の堤防決壊		-1H 土砂災害発生				堤防決壊までいく と...(不安残る) 家倒壊 (堤防と同じ高さ に自宅)			

タイムライン意見			良いこと		課題		
自助	共助		自助	共助	自助	共助	公助
⑤ ゴミ箱、車庫、倉 庫	(課題) 自主防に入ってい ない自治会も有る( 半数以上がこの状 態)		・早めの避難をす れば安心です。	避難の計画性	避難のタイミング の難しさを考えさ せられる	災害の場合に他人 を助ける事が出来 るか不安。	行政への要望等
⑥ -6h 戸じまり			(良) 防災行動にもいく つかあり、時間間 係で考えておく必 要があること。	行動の確認が出来 る。		(課題) コミュニティにし ろ、自治会にし る、有事の時は体制 を作り、終結する 必要はないか?	中讃保健所と丸病 は避難所と出来る ようにしておく。
-6H 自宅待機			(2-1) 要介護者を優先し て助けることはわ かるが、自分の命 ・家族が大切な ので、	問題点の発見		近所つきあいの大 切さ	・避難指示の行政 力を発揮してほしい。
② (-5h) ・持出品 ・服装 ・戸じまり			(2-2) そちらを優先する ので、事前に助け ることが必要とわ かった	防災への確認			
⑤ (-5h) ・戸じまり				時間軸で準備・行 動が必要であるこ と			
② -4H 食料品、貴重品							
③ -2H 常に一緒にいる							

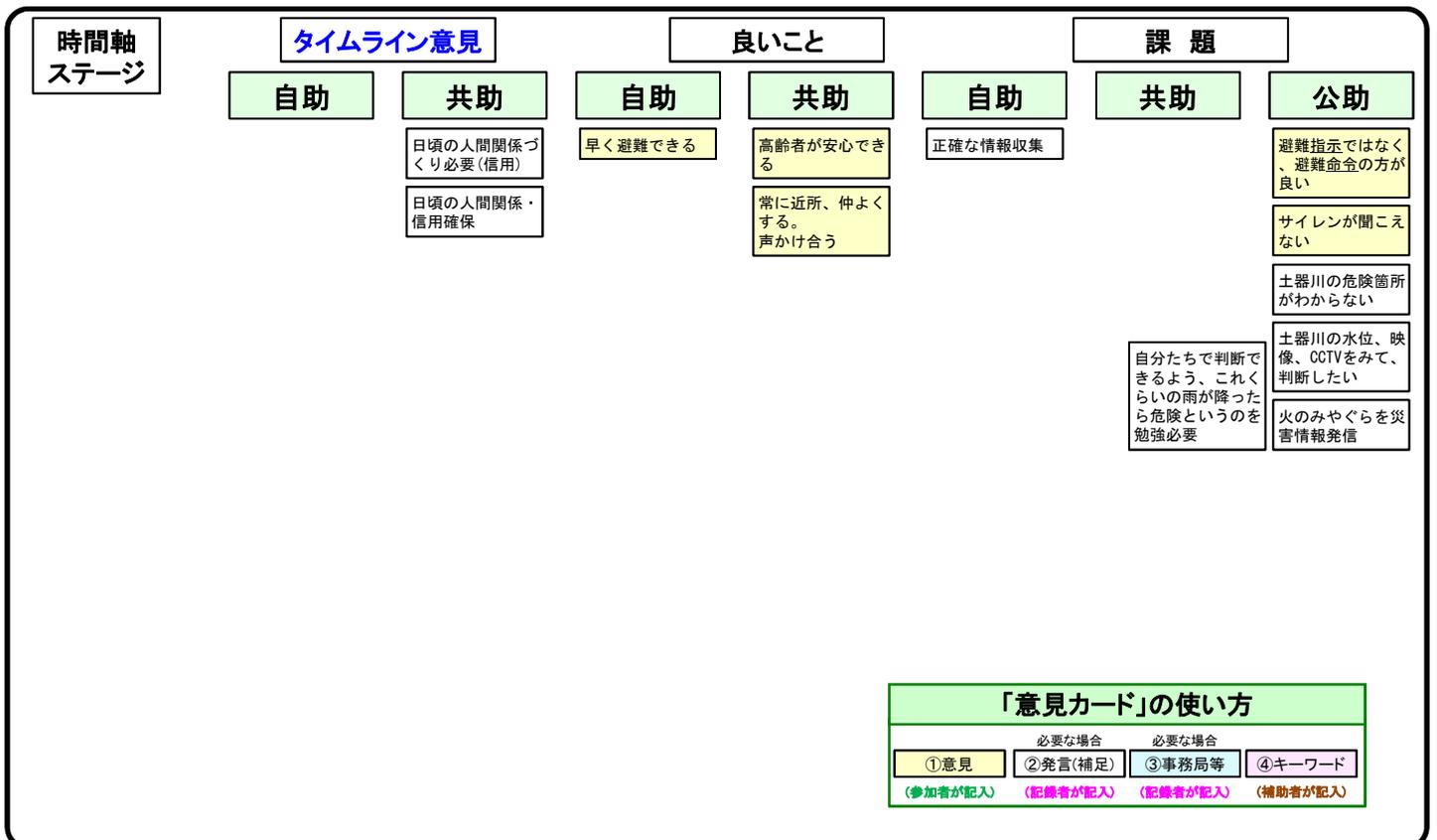
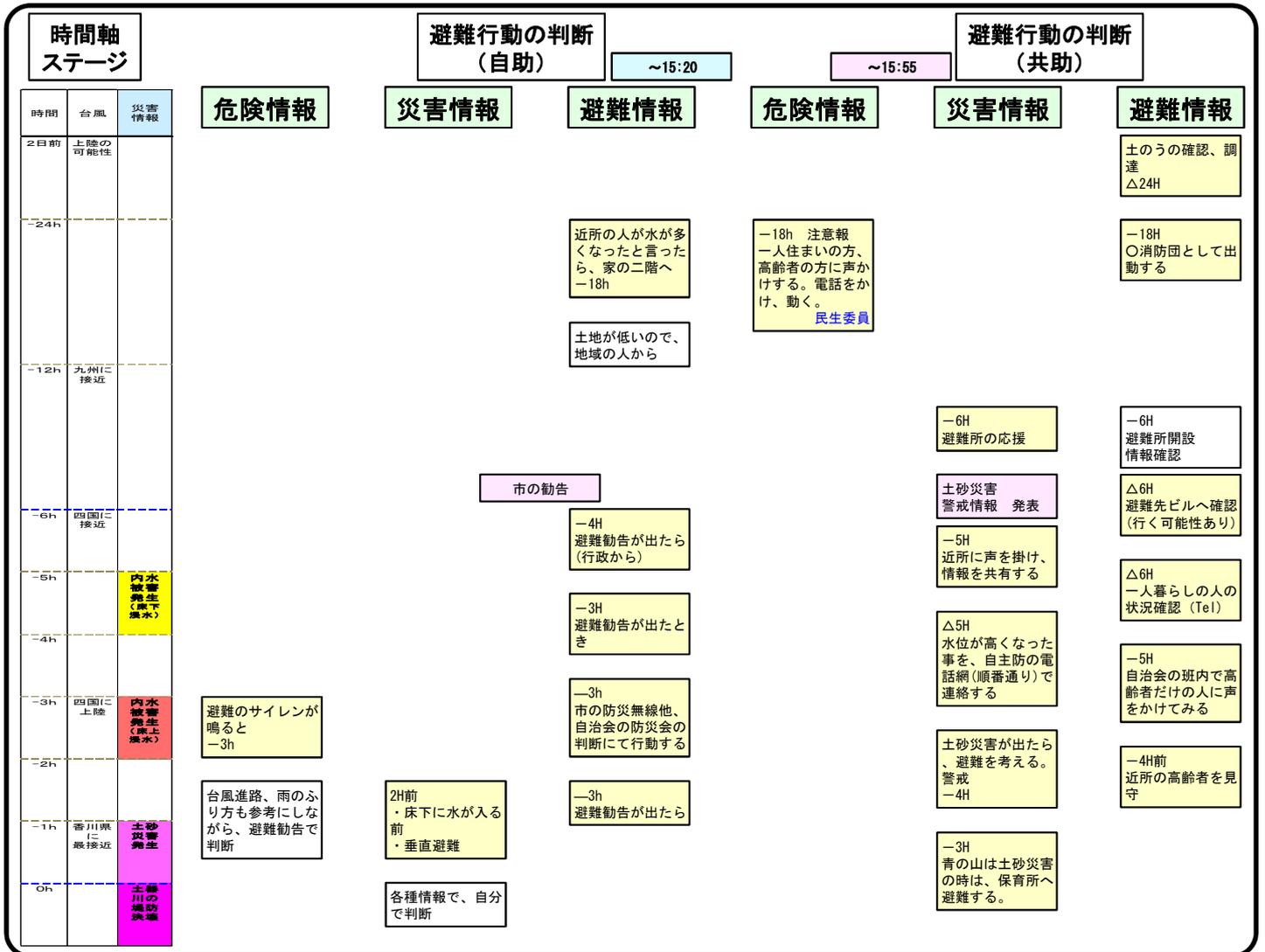
**「意見カード」の使い方**

①意見 (参加者が記入)	②発言(補足) (記録者が記入)	③事務局等 (記録者が記入)	④キーワード (補助者が記入)
-----------------	---------------------	-------------------	--------------------

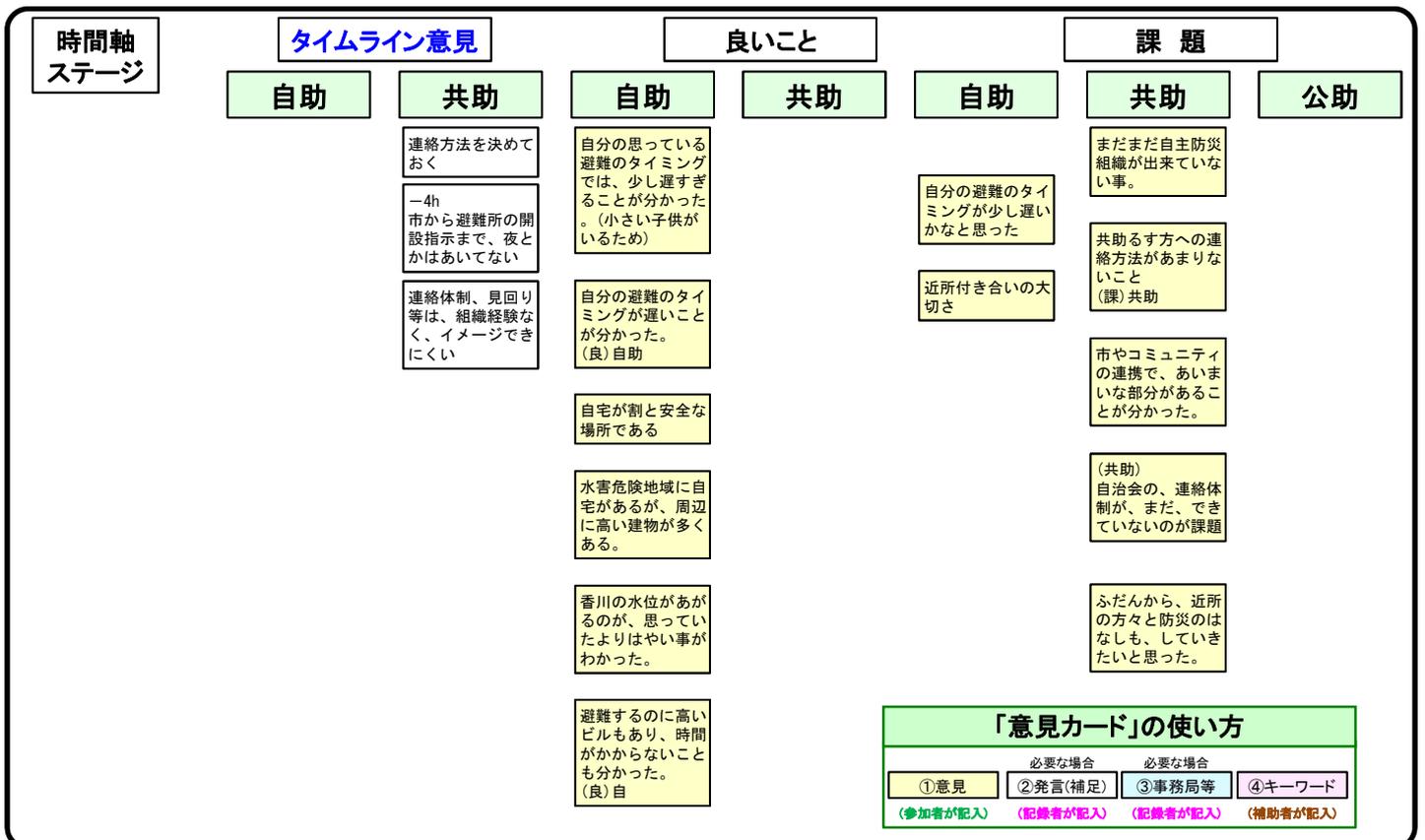
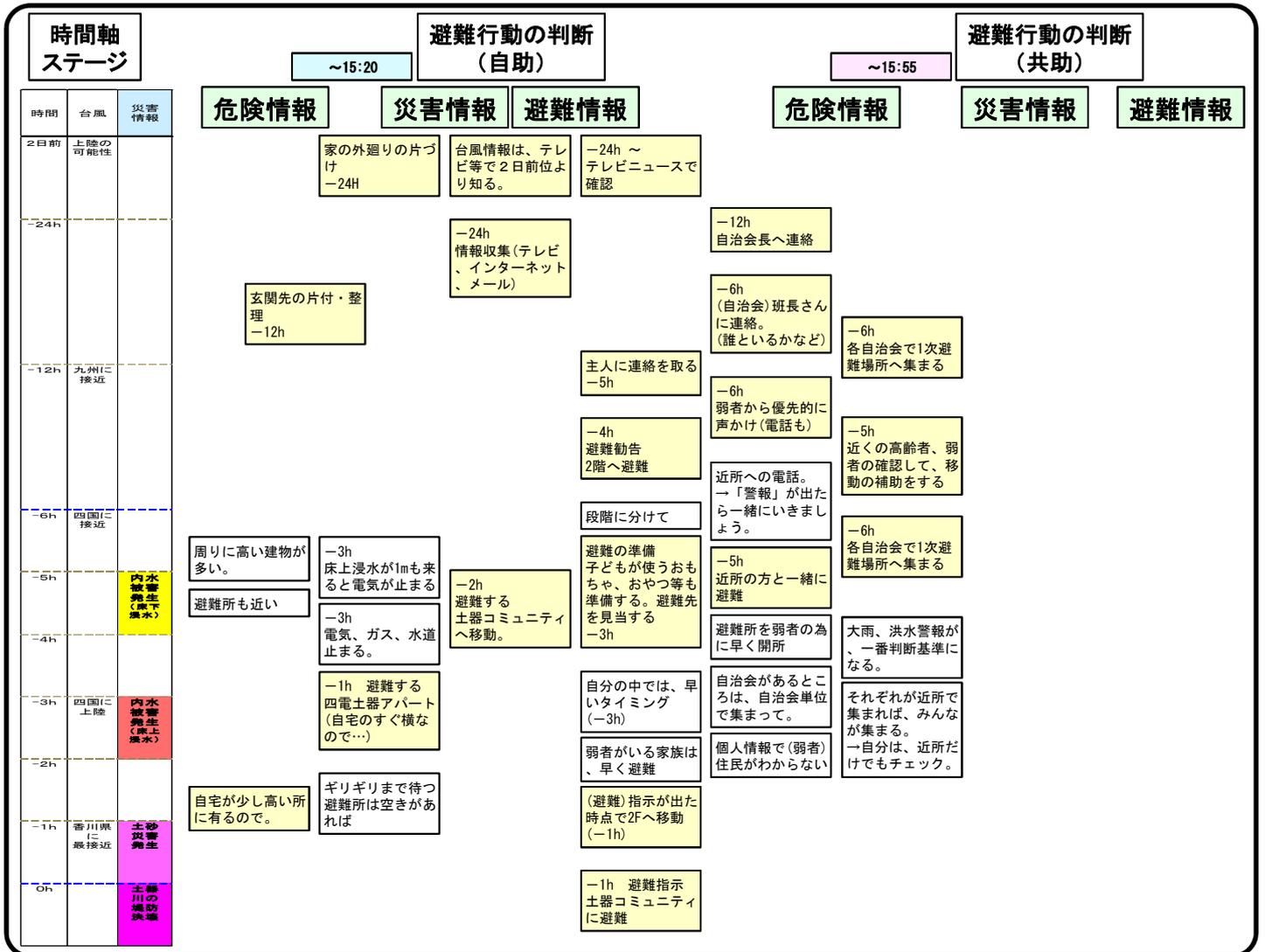
# 意見カードの結果(テーブル2)



# 意見カードの結果(テーブル3)



# 意見カードの結果(テーブル4)



# 意見カードの結果(テーブル5)

